

**【令和4年度事業報告】**

新型コロナウイルス流行の影響により、令和2年度以降、活動が大幅に制限されています。

《事業目的》

移植医療の普及推進と目と臓器に関する保健衛生の知識の啓発を図り、県民の健康増進及び福祉の向上に寄与することを目的に、眼球提供希望者の募集、眼球移植希望者の調査及び相談、角膜及び強膜のあっせん、臓器移植希望者の組織適合性検査費用の助成、移植医療に関する調査及び研究並びに支援に関する事業を行うものとする。

1. 普及啓発事業（公）

移植医療に対する県民の理解と協力が得られるよう、パンフレット等を作成し、医療機関等に配布し、移植医療に関する知識の普及啓発にあたった。

コロナ禍で各団体主催の会等も中止を余儀なくされ、関係団体等における啓発活動にも支障をきたした。

(1) 各種行事での普及啓発

1) オンライン移植医療県民公開講座

「臓器移植法施行25周年記念 移植医療県民公開講座2022  
～One teamで一步前へ!」

日程 令和4年10月1日（土）

場所 オンライン開催（応募総数434名）

主催 熊本県、（公財）熊本県移植医療推進財団、KKTくまもと県民テレビ

後援 熊本県教育委員会 熊本市教育委員会 熊本市

共催 （公社）日本臓器移植ネットワーク、熊本県移植医療推進ネットワーク協議会、  
（一社）日本移植学会 熊本県腎移植者の会

2) グリーンライトアッププロジェクト2022

開催期間：令和4年10月11日（火）～令和4年10月17日（月）

開催場所：熊本城他19か所

3) グリーンリボンキャンペーン

開催期間：令和4年10月11日（火）～令和4年10月31日（月）

開催場所：熊本県庁他5か所

4) 熊本県腎移植者の会黄色い羽根募金運動街頭キャンペーン

コロナウイルス感染拡大のため中止

(2) 感謝状の贈呈

1) 献眼者の葬儀に参列し、御遺族に対し代表理事感謝状の贈呈を行った。

令和4年度 参列2件（献眼数11件）、感謝状贈呈のみ8件

2) 献眼者を顕彰するため、厚生労働大臣感謝状を申請し、贈呈を行った。  
令和4年度 11件 (献眼数11件)

3) 熊本県ライオンズクラブ献眼・献腎・献血運動協力会の主催  
により、献眼者慰霊碑へ献花を行った。

日時 令和4年11月22日(火)

場所 熊本市動植物園

### (3) 普及啓発チラシ等の作成

1) 『ざいだん NEWS』の発行

令和元年度に財団設立40年シンポジウムの開催に合わせ広報誌として発行し、当年度は第1号を作成し、賛助会員に送付、及び関係各所に配布した。

### (4) 講義・講話・研修の実施

1) 熊本県警察学校

日時 令和4年6月22日(水)

内容 講義 「臓器提供と検視の関わり」

2) 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会の開催(年2回以上)

熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会を開催し、各医療機関等の連携構築に必要な調整を行った。

(1) 第1回 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会 移植医療施設部会

日時 令和4年10月27日(木) 18:30~20:00 ホテル熊本テルサ ひばり

熊本県移植医療推進ネットワーク協議会 会長 猪俣 裕紀洋 先生

「臓器の移植に関する法律の運用に関する指針(ガイドライン)の一部改正について」

(2) 第2回 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会 移植医療施設部会

日時 令和5年 2月24日(金) 18:30~20:00 ホテル熊本テルサ ひばり

更生労働省 健康局難病対策課 移植医療対策推進室 室長補佐 吉川 美喜子 先生

「脳死下での臓器提供事例に係る検証会議の事例重点化について」

3) 臓器移植院内コーディネーター研修会等の開催

県内38医療機関に設置している臓器移植院内コーディネーター向けの研修会を開催し、コーディネーターの養成及び資質向上を行った。

<Web講演会>

(1) 令和4年12月14日(水) 18:00~19:30

熊本労災病院 院長 猪俣 裕紀洋 先生

「ガイドラインの一部改正について」

熊本労災病院 小児外科部長 大矢 雄希 先生

「心停止下臓器提供を経験して」

【参加者】50アクセス(個人・施設)

(2) 令和5年 1月30日(月) 18:00~19:30

国立病院機構熊本医療センター 救命救急部長 櫻井 聖大 先生

「臓器提供が中止となった1例」

熊本赤十字病院 第二救急科部長 桑原 謙 先生

「臓器提供のピットフォール」

【参加者】29アクセス(個人・施設)

(3) 令和5年 2月16日(木) 18:00~19:30

荒尾市民病院 相談支援センター 湯藤 陽子 先生

「荒尾市民病院の臓器提供に関する取り組み」

荒尾市民病院 統括診療部長兼救急科部長兼HCU部長 松園 幸雅 先生

「5類型に該当しない施設での組織提供の経験」

【参加者】31アクセス(個人・施設)

※一部研修会については、熊本県臓器移植コーディネーターが実施する都道府県支援事業研修会と共催。

#### 4) 臓器移植院内コーディネーター等の研修に係る補助

臓器移植院内コーディネーターや熊本県移植医療推進協議会移植医療施設部会の医師等に対して学会や研修会等への参加費を補助し、コーディネーターの資質の向上を図った。

<補助対象研修会>

(1) 第21回 JATCO総合研修会 ドナーコース

(2) 第50回 日本集中治療学会学術集会

<補助内容>

5類型施設から延べ5名、参加費の約263,000円を補助

#### 5) 先進的な活動等の視察研修

先進的な取り組みや効果的な普及啓発活動等を行っている自治体や医療機関等に熊本県移植医療推進ネットワーク協議会移植医療施設部会員や提供側・移植側の医療関係者等を派遣し、実際の活動を学ぶ

日時：令和5年1月25日(水)～令和5年1月27日(金)

視察先：公益財団法人石川県臓器移植推進財団、(石川県腎友会の「黄色い羽根募金」)

公益財団法人富山県アイバンク

※新型コロナウイルス感染拡大のため視察中止

#### (5) 移植医療ボランティアの育成

熊本赤十字病院、熊本県腎移植者の会と連携し、移植ボランティアを育成し「黄色い羽根募金活動(熊本県腎移植者の会主催)」等を行った。(公社)熊本県医師会、(一社)熊本県歯科医師会、(公社)熊本県薬剤師会等、県下約3,000ヶ所に資材等送付した。

## 2. 提供者募集管理業務（公）

臓器移植には、健康な臓器提供希望者が不可欠であるため、県民の健康に関する普及啓発を図り、健康保険証・運転免許証・マイナンバーカードの意思表示欄への記入を呼びかけることにより、臓器提供者の募集を行うことを目的に新成人を対象に普及啓発資材を配布した。

令和4年度 新成人数約：17,500名 配布枚数：10,000枚（熊本市配布対象外）  
※臓器(角膜)提供意思登録については、日本臓器移植ネットワーク、日本アイバンク協会のホームページ上でオンライン登録によって募集が行われている。

## 3. 移植希望者の調査事業（公）

### (1) 腎移植希望者登録

熊本県内腎移植希望登録者165名（全国14,080名） 令和4年12月31日現在

### (2) 角膜移植待機患者数調査（公益財団法人日本アイバンク協会との連携）

毎月、移植施設より移植待機患者の報告を受け集計し、日本アイバンク協会、九州各県アイバンク連絡協議会へ報告を行った。

熊本県の待機患者数152名 令和5年3月31日現在

## 4. 摘出あっせん業務（公）

先天的又は後天的な角膜、強膜の疾患により、視力低下又は失明した方に対して角膜、強膜の移植により視力を回復させることを目的に、安全性の確保された角膜、強膜を公平、公正にあっせんした。

提供者数11名、移植実施者数17名（保存眼1眼含む）

## 5. 組織適合検査の助成事業（公）

腎移植希望者の新規登録のための組織適合検査（HLA検査）費用が、税込26,400円と高額なことから、検査費用の一部補助（1人9,000円）を実施した。

令和4年度実績 21件（総額189,000円）

## 6. 移植調査研究事業（公）

移植医療推進に関係する会議等により参加した。

### (1) 全国アイバンク連絡協議会

日時 令和4年2月17日（金） 13:30～16:00 WEB開催

- 1) 月報および国会報告に関して 統計情報委員会活動報告
- 2) 中核アイバンクからの報告

### (2) 都道府県臓器移植推進組織協議会への参加

日時 令和4年12月16日（金） 14:00～16:00 愛知県産業労働センター

- 1) 令和3年度収支決算報告
- 2) 令和4年度アンケート調査の結果について
- 3) 意見交換

## 7. その他事業（公）

### （1）各種会議

#### 1) 定例第1回理事会 【文書審議】

令和4年6月9日 議事録署名

第1号議案 令和3年度事業報告（案）及び収支決算（案）について

承認されました

第2号議案 令和4年度役員（理事・監事）、推進委員、評議員の改選及び役員の交代（案）について

承認されました

第3号議案 令和4年度事務局員の追加について

承認されました

#### 2) 定例第2回理事会 【文書審議】

令和5年3月22日 議事録署名

第1号議案 令和4年度補正予算について

承認されました

第2号議案 令和5年度事業計画（案）について

承認されました

第3号議案 令和5年度収支予算（案）について

承認されました

第4号議案 基金の取扱いについて

承認されました

第5号議案 「公益財団法人熊本県移植医療推進財団職員等任用規定」等の一部改正について

承認されました

#### 3) 評議員会 【文書審議】

令和4年6月24日 議事録署名

第1号議案 令和3年度事業報告（案）及び収支決算（案）について

承認されました

第2号議案 令和4年度事業計画及び収支予算について

承認されました

第3号議案 令和4年度役員（理事・監事）、推進委員、評議員の改選及び役員の交代（案）について

承認されました

第4号議案 令和4年度事務局委員の追加（案）について

承認されました

### （2）関連機関との協議会等

1) 熊本県移植医療推進ネットワーク協議会

2) その他（ライオンズクラブ三献協力会議）

### （3）当財団の事業を広く紹介

### （4）臓器移植連絡調整者設置事業【委託事業】

国民の臓器提供に関する意思を十分理解できるよう支援するとともに、円滑な臓器移植を実施するため、専門的立場から医療機関等に対する普及啓発活動及び臓器提供の可能性が生じた際に、関係者間の連絡調整等の諸活動を行った。

### （5）臓器移植院内コーディネーター連携構築事業【委託事業】

臓器移植院内コーディネーターの役割は、提供施設内で患者とその家族の臓器提供に関する意思確認から臓器提供の一連の流れが円滑に進むように、院内体制整備、ドナー候補者の把握、臓器提供の意思確認、他部門との連携、院内における教育や普及啓発活動等多岐にわたり、専門的な知識を必要とするため研修会の開催や、日本臓器移植ネットワークが共催しているセミナー等へ派遣を行い資質向上を図った。

#### **(6) 都道府県支援事業【助成事業】**

都道府県内における臓器移植に関するあっせん業務を公平、公正、適切かつ安定的に実施する体制の構築、及び臓器提供に関する国民の意思を確実に活かすことができるような院内体制を整備するため、都道府県内の臓器移植関係者が連携して行う移植医療に関する諸問題の検討、教育・研修活動や啓発活動を行った。